

公表:令和 7年 3月1日

事業所名:児童発達支援・放課後等デイサービスきらら

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			・メインフロアをカーテンで仕切ったり、適宜個室を使用する等用途に応じて環境を整えています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	6			・現在6人の職員と児童数に応じて系列の児童デイから職員を増員をして調整をしています。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1		・各児童さんの荷物置きは名前と各児童さんに合わせて動物、果物マークを使用し覚えやすいようにしています。 ・踏み台などを用いて利用しやすい環境を整えています。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6			・その日の活動に合わせて環境を設定しています。	
	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			・職員全員での会議の参加を徹底しており、会議の際には各児童の目標に応じた課題見直し等をしています。	

業務改善	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		・毎年の評価表により保護者様より貴重なご意見を頂いています。	・今後も評価表や普段の連絡などでもご意見をお聞かせください。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		・ホームページ、インスタグラムで公開しております。		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	・きららでは現在外部評価を行っておりません。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・年に2回以上の外部の研修、専門職による社内研修を行っております。	・職員研修の実施によりご利用を中止をする日もあるかと思いますが何卒宜しくお願い致します。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			・毎日の課題は各児童さんの目標に合わせて課題を行っております。 ・職員会議では各児童さんの目標に合わせて課題設定、活動予定を計画しています。	
適切な支援	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			・円城寺式のアセスメントツールを用いたアセスメント、きらら独自のツールを用いたアセスメントを行っております。	

援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			・ガイドラインに則り、5領域に展開したうえでアセスメントし、支援内容を設定しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			・毎月職員会議を行い、支援内容を話し合ったうえで設定しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			・毎月の職員会議で立案しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・活動に新鮮さを感じられるように手作りの教材等を用いるなどして活動を行っています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	6			・各児童さんの状況をアセスメントし専門的なエビデンスをもとに活動、課題を設定しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・各児童さんのその日の課題等を毎朝確認し、その日の集団活動も職員間で打ち合わせをしています。	

⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			・その日の出来事などを話し合い、その日不在の職員には後日伝えるようにしています。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・連絡帳とは別に個人記録、業務日誌等を毎日記載し、毎月の職員会議に活かしています。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・毎月の職員会議での話し合い、6か月ごとの個別支援計画書更新時のモニタリングを行っています。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			・担当者会議には管理者、担当者等その児童さんの状況を一番理解出来る職員が参加しています。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6			・必要に応じて、保健師、子育て支援センター等と連携しています。
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6			・現在医療的ケア児さんの通所はありませんが、常時看護師がおり、専門的に連携可能です。

⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6			・協力医療機関の設定のもと連絡体制を整えています。	
㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			・必要に応じて、専門職員の訪問などを行いつつ各関係機関との連携をおこなっております。	
㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			・必要に応じて、専門職員の訪問などを行いつつ各関係機関との連携をおこなっております。	
㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		・研修を受けたり、実際に児童発達支援センターへ見学、児童発達支援センターの方に訪問に来ていただくなどして、職員の学習の機会につなげています。	
㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6			・近隣の幼稚園の開放日などに貸室として遊ぶ機会を設けています。 ・課外活動で公共施設を利用し、様々な児童さんと関わる機会を設けています。	
㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	4		・研修への参加をしている。	

⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・普段の連絡帳や送迎時のやり取り、LINEでの活動報告、面談等様々な場面で情報共有を行っている。	
⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	6			・感染症の動向を見ながらにはなりますが、今後専門職を交え保護者向けのペアレント・トレーニングの場を設ける予定です。	
⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・契約時に重要事項説明書、契約書をもとに説明を行っています。	
⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			・各児童さんごとに5領域に分けてアセスメントを行い計画を作成しています。 ・作成された計画書は保護者の方に説明をし、同意を頂いたうえで支援を行っています。	
⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・必要に応じて保護者面談を専門職員を交えておこなっています。	
⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2		・今年も保護者向け研修として、保護者の皆様が交流できる場を設けるよいであります。ぜひご参加ください。	

⑩	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・苦情・相談マニュアルをもとに対応させていただきます。	
⑪	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・季節ごとの会報の発行、LINEでの各ご家庭への活動報告を写真や動画などで行っています。	
⑫	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			・個人情報保護法の施行にあたり、下記内容の個人情報保護方針を定め、確実な履行に努めております。	
⑬	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・様々なツールを使い児童さん、保護者の方と円滑にコミュニケーションが取れるようにしています。	
⑭	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3		・専門職員主導で、地域住民の方向けの子育てサロンの開催を計画中です。	
⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6			・各マニュアルをもとに対策、対応しております。 ・保護者の方向けに災害時のお迎え、連携マニュアルを作成しお配りしております。	

非常時等の対応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・職員向けの訓練は毎月、児童参加型の訓練は年に2回設定しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6			・通所開始に当たり、各児童さんの持病の有無、内服薬の内容を把握しております。 ・緊急時には看護師による処置が可能です、何かあればお知らせ下さい。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	6			・アレルギーによる緊急時の対応を看護師のもと研修を行っています。 ・緊急時には指示書をもとに看護師によるエピペンの使用が可能です。 ・食器の色分けなどで食物アレルギーの対応可能です。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・事故防止・発生時対応マニュアルをもとに支援をおこない、発生時には、ヒヤリハット書類作成のもと職員会議で共有をしています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・虐待防止委員会を設置の上研修を毎年行っています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6			・身体拘束適正化のための指針を設け職員研修のうえで支援を行っています。 ・万が一身体拘束が必要と判断される場合には保護者の方の了承のもとで行う規定になっております。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。